

第 176 回幹事会議事要旨

日 時 平成 25 年 7 月 26 日 (金) 13:30~16:05

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 大西 隆

(副会長) 小林 良彰、家 泰弘、春日 文子

(第一部) 佐藤 学、大沢 真理、後藤 弘子、丸井 浩

(第二部) 山本 正幸、生源寺 眞一、須田 年生、長野 哲雄

(第三部) 荒川 泰彦、相原 博昭、土井 美和子

(事務局長) 田口 和也

(事務局次長) 飯島 信也

(課長等) 渡邊 清、長谷川 和好、中澤 貴生、石原 祐志、佐藤 正一

審議事項等

- 1 前回議事要旨の確認が行われた。
- 2 前回の幹事会以降の諸報告事項について確認が行われた。
- 3 以下の公開審議が行われた。
 - (1) 幹事会附置委員会「科学研究における健全性の向上に関する検討委員会」を新規に設置することとし、運営要綱を決定した。
 - (2) 分野別委員会運営要綱の一部改正（新規設置 2 件、設置期限の延長 1 件）及び分科会等委員（2 分科会、2 小委員会）を決定した。
 - 新規設置
 - ・地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 I H D P 分科会 K L S C 小委員会
 - ・地域研究委員会 地域情報分科会 地域の知小委員会
 - 設置期限の延長
 - ・土木工学・建築学委員会 土木工学・建築学分野の参照基準検討分科会
 - (3) フューチャー・アースの推進に関する委員会における委員を決定した。
 - (4) 人口減少が社会の諸システムに及ぼす影響に関する長期展望委員会における委員を決定した。
 - (5) 我が国の研究力強化に資する研究人材雇用制度検討委員会における委員を決定した。
 - (6) 科学者からの自律的な科学情報の発信の在り方検討委員会における委員を決定した。
 - (7) 日本学術会議の第三者評価機能に関する検討委員会における委員を決定した。
 - (8) 提言「100 万人ゲノムコホート研究の実施に向けて」について、第二部ゲノムコホート研究体制検討分科会の浅島誠委員長、菅野純夫幹事より説明があり、審議の結果、承認した。
 - (9) 生物兵器禁止条約 (BWC) 専門家会合へ会員を派遣することを決定した。

- (10) 日本学術会議協力学術研究団体の指定（1団体）を承認した。
 - (11) 地区会議構成員の所属地区の変更を決定した。
 - (12) 21件のシンポジウム等の開催及び5件の国内会議の後援を決定した。
 - (13) 日本学術会議の活動状況等に関する年次報告（平成24年10月～平成25年9月）の作成の方針を了承した。
- 4 その他事項として、第165回総会及び今後の幹事会の日程について確認した。
- 5 以下の非公開審議が行われた。
- (1) 東日本大震災復興支援委員会における分科会委員（特任連携会員）を決定した。
 - (2) 原子力利用の将来像についての検討委員会における分科会委員（特任連携会員）を決定した。
 - (3) フューチャー・アースの推進に関する委員会における委員（特任連携会員）を決定した。
 - (4) 分野別委員会における分科会委員（特任連携会員）の任期の延長、分科会委員（特任連携会員）及び小委員会委員を決定した。
特段の事情を考慮し、社会学委員会社会学分野の参照基準検討分科会に、複数名の特任連携会員を決定した。
（社会学部や社会学科のない大学での教育体験がある人材が不可欠であるため。）
 - (5) 人口減少が社会の諸システムに及ぼす影響に関する長期展望委員会における委員（特任連携会員）を決定した。
 - (6) 科学者からの自律的な科学情報の発信の在り方検討委員会における委員（特任連携会員）を決定した。
 - (7) 日本学術会議が加入する国際学術団体の脱退及び加入の決定が取り下げられた。
- 6 非公開その他事項として、大西会長から「第11回産学官連携功労者表彰日本学術会議会長賞」の決定について報告があった。